

2012年 2月 25日

各位

王子チヨダコンテナ株式会社  
代表取締役社長 渡 良 司

### 王子チヨダコンテナ(株)仙台工場の操業再開について

昨年 3月 11日の東日本大震災から間もなく 1年が経過しようとしております。宮城県多賀城市で段ボール製品の製造を行なっておりました王子チヨダコンテナ仙台工場は、地震と津波による被害で操業停止の状態が続いておりましたが、2月 25日に操業を再開しました。

王子チヨダコンテナ仙台工場は、仙台港から約1 kmに位置し、この震災では震度5強、さらには約4 mの高さの津波の直撃を受けました。幸い、従業員は迅速な避難により全員無事でしたが、段ボール製造設備は全て使用不能となり、また建屋は大きく損傷し、操業停止の状態に追い込まれました。その後、仙台工場の早期復旧を目指し従業員総出で、工場構内と工場周辺の瓦礫の撤去や整理、生産設備の撤去等を行う一方、多賀城市、宮城県との協議を積み重ね、工場の復旧復興について慎重に検討を続けた結果、「従業員の雇用確保」、「仙台市・多賀城市周辺、太平洋岸周辺を中心としました宮城県内のユーザーの皆様との関係」を大切にすべきと考え、さらには、この地で操業を続けさせていただいて約50年という地元との繋がりも踏まえ、昨年9月に現在地の多賀城市で復興することを決め、以降復旧工事を急ピッチで進めてきました。

王子チヨダコンテナ仙台工場は、本日現在、工場建屋、設備等の復旧工事が未完了であり、この後も工事を続けることとなりますが、工場従業員の職場を早期に確保することを第一に考え、まずは段ボール製造設備（製函設備、印刷機）の設置を行い、一部設備によりまして操業を再開いたしました。また、震災前は仙台工場構内で操業し、現在は仙台市内の貸工場へ移転し操業を続けております同じ王子製紙グループの築館パッケージ(株)を今後再び仙台工場構内に集約すること等で、一部建屋の復旧工事がその後も続くものの3月中には操業体制を整えることとしております。

震災以降お寄せいただいた多くの励ましのお言葉に改めて感謝すると共に、王子チヨダコンテナ仙台工場の復興を王子製紙グループのひとつのシンボルといたしまして、微力ながら地域の復興の一翼を担っていきたいと考えております。

以上